

## 第4章 基本方針

旧川越織物市場の保存・再生（活用）計画は、歴史的な建築物と建物本来の歴史的背景など貴重な資源としての保存ばかりでなく、それを再生し、地域住民はもとより多くの市民や、観光客等来訪者、周辺商店街や各種事業者との連携により、川越市の限りない活性化の機会の拡大と、地域住民のコミュニティ形成の『場の創出』等を目的とした活用を目指したいと考えます。

以下、基本的な方針に基づき、具体的な保存・再生（活用）計画を示すと以下のとおりとなります。

- ・再生と活用方策の検討・研究については、川越市と住民参加（ワークショップ形式等）の協働によるものが考えられる。
- ・計画に際しては、利用促進を図るため、それぞれの利用者（地域住民、市民、観光客等来訪者等）に応じた施設メニューを考える。
- ・旧川越織物市場を通して、他都市の織物等に関連する他組織・団体等のまちづくり組織との連携を図る。
- ・川越祭りの山車コースの中央に位置することから、新たな中心核としての機能を創出する。
- ・松江町2丁目や立門前商栄会、大正浪漫夢通り等をはじめとする当該地域の先導的役割を担い、『歴史的景観のまち：川越』の景観創出の中核を目指す。
- ・喜多院～蓮馨寺・蔵づくりの町並み方面を結ぶ新たなルート整備や、大正浪漫夢通り等との連携強化を目指す。
- ・高齢社会、バリアフリー化、国際化等への対応として、お年寄りや体の不自由な人、外国人等にもわかりやすい・歩きやすい・買い物しやすい・休憩しやすい空間整備として、ユニバーサルデザインに基づく施設・サイン計画等を考える。

# 歩行者動線図

## 凡例

- 主要公共施設
- 鉄道駅
- 寺社・観光スポット
- 主要動線

